

平成17年11月4日

平成17年度病害虫発生予察注意報第4号の発令について

病害虫発生予察注意報は、重要な病害虫の多発生が予想され、早急に防除措置を講ずる必要が生じた場合に発令する情報です。

病害虫名：シルバーリーフコナジラミ

作物名：施設果菜類・施設花卉類

定植から収穫初期の促成ナス、促成ピーマンのシルバーリーフコナジラミの発生面積が平年の2倍～4倍程度であったことから、10月4日付け注意報第2号を発令し施設栽培のナス、ピーマン、シシトウ、トマトに対し注意を促したところです。しかし、10月4～5半旬に実施した巡回調査では、促成ナス、促成ピーマン、抑制・促成キュウリで、依然として平年の2倍～4倍程度の発生面積となっており、ハウス内の発生密度が高い状態が続いています。また、促成ナスの一部では本虫の排泄物による「すす病」が発生しており、トルコギキョウでは本虫が媒介する「トルコギキョウ葉巻病」が初確認されるなど、本虫による被害の拡大が続いています。さらに、向こうヶ月の気象予報では気温は平年並か高いと予想されていることから、今後もシルバーリーフコナジラミの急激な密度の低下は期待できないものと思われます。

ピーマン、シシトウでは本虫の寄生による果実の「白化（退色化）症状」が見られる場合があるため、このまま発生が続くと果実の品質低下の恐れがあります。また、トマトでは本虫が「トマト黄化葉巻病（TYLCV）」を媒介することから、今後もその発生が懸念されます。

防除対策としては、薬剤抵抗性回避のため同一系統剤の連用を避け、抵抗性発達の恐れのない気門封鎖作用のある薬剤を利用しながら、高密度にならないうちに防除しましょう。さらに、施設開口部への防虫ネット（1mm目以下）被覆や黄色粘着シートの利用、ほ場周辺の除草などによりハウスへの成虫の侵入を防止し密度低下に努めてください。

なお、薬剤防除については各地域の農業振興センター、JAなどの指導に基づき、農薬使用基準を遵守してください。



シルバーリーフコナジラミ成虫 トマト黄化葉巻病 ピーマン果実の白化症状 トルコギキョウ葉巻病

お問い合わせは、病害虫防除所、杉本（TEL.863-1132）または、環境農業課、山崎（TEL.821-4545）まで。